B6FY-6371-01 Z0

取扱説明書

このたびは、弊社の FMV Keyboard X01M をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用になる前にこのマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

重要

- **安全にお使いいただくために**
  このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」（→ P.2）をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
- **本製品をお使いになる前に、最新のファームウェアをアップデートしてください。**
  ファームウェアのアップデートは、専用アプリ「FMV Accessory App」から行います。
  「FMV Accessory App」のインストール方法については、FMV サポートページの Q&A ナンバー「7711-4160」をご覧ください。
  https://www.fmworld.net/cs/azbyclub/qanavi/jsp/qacontents.jsp?PID=7711-4160

マニュアルについて

本製品には、次の 3 種類のマニュアルがあります。

- スタートガイド
  接続方法など、基本的な使い方を記載しています。
- 取扱説明書
  注意事項、入力モードの設定方法、トラブルへの対処法（トラブルシューティング）など、詳細な使い方や設定手順を記載しています。
- FMV Link 操作ガイド
  FMV Link（連動機能）の設定方法、操作方法、トラブルへの対処法（トラブルシューティング）などについて記載しています。

また、本製品を接続するパソコン／タブレット／スマートフォンのマニュアルもあわせてご覧ください。

マニュアルの表記

■本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なる場合や、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略している場合があります。

■操作手順について

- Windows とその他の OS は、機能の追加や改善、セキュリティの向上を目的とし、インターネットを通じて自動で更新されます。そのため、このマニュアルをご覧になる時期により、操作手順や画面に表示される内容などが変わる場合があります。
- このマニュアルでは、連続する操作手順を「→」でつなげて記述しています。なお、アプリの状態を変更した場合は、操作手順が異なることがあります。

■キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を記述しています。
また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「＋」でつないで表記しています。
例：control ＋ option ＋ space キーなど

■製品の呼び方

このマニュアルでは、製品名称を次のように略して表記します。

製品名称	マニュアルの表記
FMV Keyboard X01M	本製品
Bluetooth®	Bluetooth

■警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

■商標および著作権

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, LLC が所有する登録商標であり、富士通クライアントコンピューティング株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
iOS、iPadOS、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
Android、Chrome OS は、Google LLC の商標または登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。
Copyright 2026 Fujitsu Client Computing Limited

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。

⚠警告

本製品を火中に投入、加熱しないでください。
発煙、発火、破裂の原因になります。

端子をショートさせないでください。
感電、火災、故障の原因になります。

本製品にはリチウムイオンバッテリーが内蔵されています。次の点にご注意ください。
液もれ、けが、やけど、破裂、火災などの原因になります。
・加熱したり、火の中に入れたりしない
・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない
・お客様ご自身で分解、修理、改造しない
・熱器具に近づけない
・火のそばや炎天下などの高温になる場所で充電、使用、放置しない
・先のとがったもので力を加えない、強い圧力を加えない
・お子様の手の届く所に保管しない

清掃のとき、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障、火災の原因となります。

振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下したりして、けが、故障の原因になります。

本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。
けが、感電、火災の原因となります。修理や点検などが必要な場合は、お問い合わせ窓口またはご購入元にご連絡ください。

梱包に使用している袋類は、お子様の手が届く所に置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。

本製品の上や周りに、花びん、コップなど液体の入った物を置かないでください。また、風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用しないでください。
感電、火災の原因になります。

発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに使用をやめてください。
異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、お問い合わせ窓口またはご購入元にご連絡ください。

落とすなどして、カバーなどを破損した場合は、電源を切り、USB ケーブルを抜いてください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、お問い合わせ窓口またはご購入元にご連絡ください。

Bluetooth ワイヤレステクノロジー、ワイヤレスキーボードの注意
次の場所では、無線通信機能を停止してください。無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。
- 病院内や医療用電子機器のある場所
  特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
- 航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
- 自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
- 身動きが自由にとれない状況など、植え込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着している方と密着する可能性がある場所
- 満員電車の中など付近（15cm）に植え込み型医療機器を装着している方がいる可能性がある場所

清掃するときに、塩化ベンザルコニウムを含む消毒薬を使用しないでください。また、製品を取り扱う前の手指消毒は、エタノール系の消毒薬を用いるものとし、塩化ベンザルコニウム成分を含む消毒薬は使用しないでください。手指消毒の後は、手指を充分に乾かしてください。消毒薬が手指に付着した状態では製品に触らないでください。
塩素が製品の内部に混入し、接続端子部の腐食による感電、火災、故障の原因になります。

本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因になります。

矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。
火災の原因になることがあります。

添付または指定された以外の USB ケーブルを本製品に使ったり、添付の USB ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。
感電、火災の原因になります。

ぬれた手で USB ケーブルを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

USB ケーブルを束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因になります。

ケーブル類に、お子様が容易に触れないようにしてください。
誤って首に巻きつけると窒息の原因になります。

自転車、バイク、自動車などを運転中に本製品を使用しないでください。
安全走行を損ない、事故の原因になります。安全な所に止めてからお使いください。

USB ケーブルを取り扱うときは、次の点にご注意ください。
感電、火災の原因になります。
- USB ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついていたりする場合は使用しない
- ケーブル類を傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしない
- ドライバーなどの金属を近づけない

本製品の内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。
取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。リチウム電池はご自身で交換せずに、お問い合わせ窓口またはご購入元にご相談ください。

お手入れなどを行うときは、本製品の電源を切り、USB ケーブルを抜いた後に行ってください。
故障、感電、火災の原因になります。

本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、USB ケーブルを抜いてください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、お問い合わせ窓口またはご購入元にご連絡ください。

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後 USB ケーブルを取り外しておいてください。
落雷による故障、感電、火災の原因になります。

バッテリーや電池が液もれし、もれ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。
失明など障害の原因になります。
液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因になります。

⚠注意

本製品を調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気の多い場所や、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因となることがあります。

本製品を直射日光が当たる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそば、ホットカーペットの上で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。

本製品の上に重い物を置かないでください。
故障、けがの原因となることがあります。

キーボードのキーキャップが外れた状態のまま使用しないでください。
キーキャップが外れた状態でのご使用はけがや故障の原因になります。特に、小さいお子様が近くにいる場合はご注意ください。

本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。
本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。本製品にはリチウムイオン電池を使用しております。リチウムイオン電池を外さずにリサイクルに出してください。

本製品を設置する場所付近に、次亜塩素酸ナトリウムや二酸化塩素成分を含む空間除菌薬の設置はお控えください。また、本製品や設置するエリアを消毒する場合には、次亜塩素酸ナトリウムや二酸化塩素成分を含む消毒薬は使用しないでください。
塩素が製品の内部に混入し、接続端子部の腐食による感電、火災、故障の原因になります。

本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源を切り、USB ケーブルを抜いてください。
火災の原因になります。

パソコンをお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10 ～ 15 分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとるようにしてください。
パソコンを長時間使い続けると、目の疲れや首、肩、腰の痛みなどを感じる原因になることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因になります。
・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
・いすの高さを、足の裏全体が付く高さに調節する。
・手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
・キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるように使用する。

お使いになる前に

■保証書について

●保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
●修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
●保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
●保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
●本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後 6 年間です。

■有寿命部品について

●本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
●有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、1 日約 8 時間、1ヶ月に 25 日のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
●本製品は部品単位の修理交換は行っておりません。本製品単位での交換となります。なお、有寿命部品の摩耗や劣化により本製品を交換する場合は保証期間内であっても有料となります。
●本製品をより長く安定してお使いいただくために、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。
●1 日 8 時間以上の連続運転などで早期に部品寿命を迎えた場合、修理に応じられない場合があります。
＜主な有寿命部品一覧＞
キーボード

■消耗品について

バッテリーは消耗品です。長期間使用すると充電力が低下し、バッテリー駆動時間が短くなります。バッテリーの駆動時間が極端に短くなったり、満充電にならなくなったりしたらバッテリーの寿命です。
本製品のバッテリーパックはお客様ご自身で交換することはできません。バッテリーの劣化や故障が発生した場合は、キーボード本体ごとの交換対応になります。お問い合わせ窓口またはご購入元にご連絡ください。

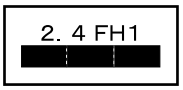
■24 時間以上の連続使用について

本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

■本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
●原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

■ワイヤレスキーボードについて



●上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。変調方式として FHSS 変調方式を採用しており、与干渉距離は 10m です。
●本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止したうえ、下記の連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ご購入元にお問い合わせください。

- 本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- パソコン／タブレット本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、見通し半径 10m 以内（出力 Class2 の最大値）です。ただし、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況などの使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。

1　お使いになるうえでの注意

本製品の使用環境や取り扱い上の注意事項を説明しています。
本製品をお使いになるうえでは、「安全上のご注意」（→ P.2）もあわせてご覧ください。

取り扱いについての注意

●次のような環境では、周囲からの電波を受けて、キーボードがうまく動作しないことがあります。通信の妨げとなる原因を取り除いてください。
・パソコン／タブレット本体とキーボードとの距離が離れすぎている場合
・パソコン／タブレット本体とキーボードとの間に、電気、電子機器や金属製の物を置いている場合
・パソコン／タブレット本体をスチール机やスチール棚のような金属製の台の上に載せている場合
・周囲でノイズ源となる電気、電子機器（無線機器を含む）を使用している場合
・パソコン／タブレット本体の周辺に金属製の物（スチール製の机、金属部分がある机）がある場合
・周囲にパソコン／タブレット本体と同じ周波数の電波を使用している機器がある場合（パソコン／タブレットを複数台でお使いの場合や、周囲で無線操縦機や無線機をお使いの場合、または無線局の近隣でお使いの場合など）
・パソコン／タブレット本体を電子レンジの近くに置いている場合
・ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスなどを使用したパソコン／タブレットを近くで使用している場合
●キーボードは、電池の消耗を抑えるため、キーを押さない状態が約 10 分続くと、スリープに入ります。スリープから復帰するとき、最初に押したキーが無効になることがありますが、これは故障ではありません。もう一度、最初に押したキーを押してください。
●パソコン／タブレットを操作していないときは、なるべく動かさないようにしてください。
パソコン／タブレット本体の電源が入っていなくても、キーボードが動作しているとバッテリーが消費されます。また、キーボードの上に物を載せたままにしないようにご注意ください。
●バッテリーの消耗を抑えるために、キーボードを使用しないときは、電源スイッチを OFF にして電源を切っておくことをお勧めします。
●満充電の場合、バッテリーの連続使用可能時間の目安は、バックライトが消灯の状態で毎日 8 時間使用し、未使用時は電源スイッチを OFF にして、約 1ヶ月です。ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります。また、使用後、電源ランプが赤色の場合は充電してから保管してください。
●定期的に充電してください。
●本製品のバッテリーの性能維持するため、本製品を長期間使用しない場合でも、2ヶ月に 1 度は充電してください。
●長時間（目安は 1 年程度）本製品を使用せず放置された後、再度のご使用をお控えください。劣化進行の度合いによっては、発熱、発煙の原因になる場合があります。
●USB レシーバーや USB ケーブルの抜き差しは、無理な力を加えず、コネクタに対してまっすぐ水平に行ってください。
●USB ケーブルを接続した場合は、次の点に注意してください。
・USB ケーブルを接続したまま持ち運んだり、ケースなどに格納したりしないでください。
・USB ケーブルを接続したときは、コネクタ部分に負荷をかけないでください。

使用環境についての注意

本製品は精密機器です。使用環境に注意してご使用ください。取り扱い方法を誤ると故障や機能低下、破損の原因となります。内容をよくご理解のうえ、注意してお取り扱いください。

■結露について

動作時、非動作時にかかわらず、本製品が結露しないようにご注意ください。結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。本製品を温度の低い場所から温度の高い場所、または温度の高い場所から温度の低い場所へ移動すると、本製品内部に結露が発生する場合があります。結露が発生したまま本製品を使用すると故障の原因となります。本製品を移動したときは、室温と同じくらいになるのを待ってから電源を入れてください。

■本製品をお使いになれない場所

●水など液体のかかる場所
内部の回路がショートして、壊れてしまうことがあります。
●ほこりの多い場所や、油を使用する場所
ほこりや油分で放熱が妨げられ、故障の原因となります。また、ほこりが入り込むことで故障や機能低下の原因となります。
●静電気の発生しやすい場所
本製品は、静電気に対して弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。使用する前には、アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。

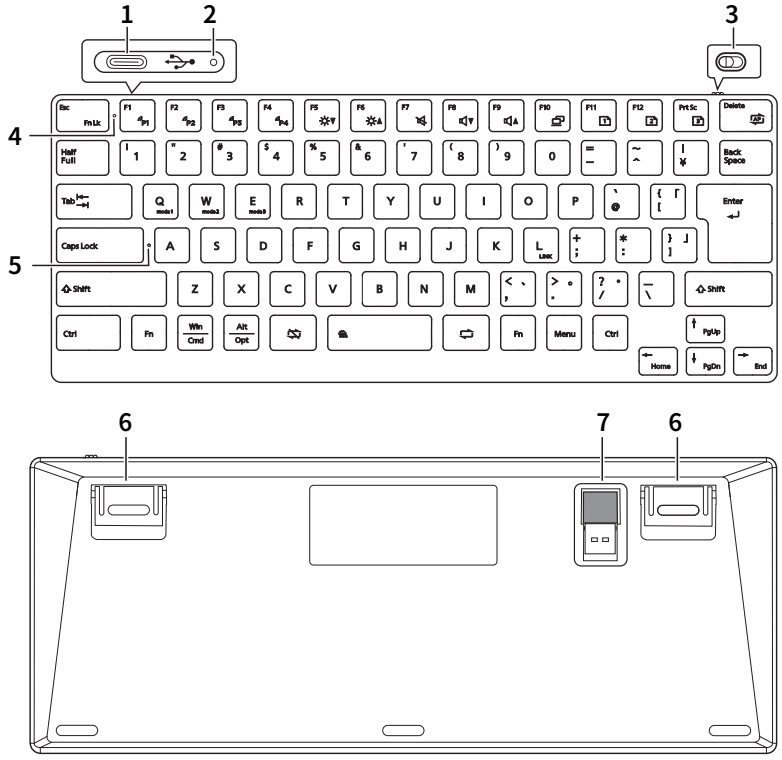
●電磁波の影響を受けやすいもの（テレビやラジオなど）や、磁気を発生するもの（モーターやスピーカーなど）に近い場所
故障や機能低下の原因となります。
●腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が存在する場所
本製品が腐食する可能性があります。
●次亜塩素酸ナトリウム、二酸化塩素などの塩素を含む薬剤を使用した空間除菌の間近
消毒する場所の付近や、風下（ファンなどを使用している場合）での製品のお取り扱いは、充分ご注意ください。故障や機能低下の原因となります。

■雷についての注意

落雷の可能性がある場合は、キーボードの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。また、雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでキーボードやケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。
安全のため、避雷器の設置をお勧めします。
ただし、どのような避雷器をお使いになってもキーボードを保護できない場合があります。あらかじめご了承ください。
●落雷について
落雷には、直撃雷と誘導雷の 2 種類あります。直撃雷と誘導雷のどちらでも避雷器で保護できない可能性があります。
・直撃雷
避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できます。
ただし、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いてもキーボード保護できないことがあります。
・誘導雷
キーボードの故障は主に誘導雷によって起こります。
雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。キーボードの場合、接続ケーブルなどから誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。
●落雷時の故障について
落雷による本製品の故障は、保証期間内でも有償修理となります。
故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

2　キーボードの各部の名称と働き

キーの各部の名称と働きについては、「7 キーの各部の名称と働き（入力モード 1 の場合）」（→ P.15）、「8 キーの各部の名称と働き（入力モード 2 の場合）」（→ P.17）、または「9 キーの各部の名称と働き（入力モード 3 の場合）」（→ P.19）をご覧ください。



1 USB Type-C コネクタ
添付の USB ケーブルをパソコン／タブレットと接続してキー入力する場合や、本製品の内蔵バッテリーを充電する場合に使用します。

2 電源ランプ
キーボードのバッテリーの状態を表します。

使用状態	電源ランプ		状態の説明
非充電時	白色	5 秒間点灯	バッテリーはまだ使用できます。
	赤色	5 秒間点灯	バッテリー残量が少なくなっています。充電してください。
	赤色	点滅	バッテリー残量がほとんどありません。すぐに充電してください。
充電時	白色	点灯	充電は完了しています。
	白色	点滅	充電中です。
	赤色	点滅	バッテリー残量が少ない状態で充電しています。

3 電源スイッチ
電源スイッチを ON にすると Bluetooth や USB レシーバーによるキー入力が可能になり、電源スイッチを OFF にすると USB ケーブルの接続によるキー入力が可能になります。

4 Function Lock LED
Function Lock モードの ON ／ OFF 状態やペアリング状態、接続状態を表します。
Function Lock モードが ON の状態のとき、白色に点灯します。Bluetooth 接続時や USB レシーバー接続時は、10 秒間操作しないと消灯します。
ペアリング状態と接続状態は次のように表します。

Function Lock LED		状態の説明
白色	長い間隔の点滅	パソコン／タブレットと接続待機中
	短い間隔の点滅	パソコン／タブレットとのペアリング待機中
	5 秒間点灯	パソコン／タブレットとの接続が完了

5 Caps Lock LED
アルファベットの大文字入力モードに変更したときや大文字入力モードでキー入力しているときに点灯します。
Caps Lock モードが ON の状態のとき、白色に点灯します。Bluetooth 接続時や USB レシーバー接続時は、10 秒間操作しないと消灯します。

6 チルトスタンド
フットを起こすとキーボードに角度を付けることができます。

7 USB レシーバー収納スペース
USB レシーバーを収納することができます。ご購入時は、USB レシーバーが収納されています。

3　USB レシーバーで接続する

USB レシーバーを使用して、接続する方法については、『スタートガイド』をご覧ください。
接続が完了したら、次に「6 入力モードについて」（→ P.12）をご覧になり、接続するパソコン／タブレットの OS に対応した入力モードを設定します。お使いの OS をあわせて設定することができます。

4　USB ケーブルで接続する

USB ケーブルを使用して、接続する方法については、『スタートガイド』をご覧ください。
接続が完了したら、次に「6 入力モードについて」（→ P.12）をご覧になり、接続するパソコン／タブレットの OS に対応した入力モードを設定します。お使いの OS をあわせて設定することができます。

5　Bluetooth ワイヤレステクノロジーで接続する

F1 ～ F4（F1 ～ F4 キー）に対して、接続するパソコン／タブレット／スマートフォンを 4 台まで設定することができます。ここでは、F1（F1 キー）に設定する方法を説明します。

重要

- **本製品をお使いになる前に、パソコン／タブレット／スマートフォンとのペアリングが必要です。**
- **パソコン／タブレット／スマートフォンとのペアリングを 1 回行った場合、再度、ペアリングする必要はありません。**
- **パソコン／タブレット／スマートフォンの初期化を行った場合などで自動的に接続できない場合は、再度、ペアリングを行ってください。**

1 パソコン／タブレット／スマートフォンの Bluetooth の設定画面を表示します。
下記の手順は一例です。Bluetooth の設定画面の表示方法や Bluetooth をオンにする方法がわからない場合は、お使いの機種のマニュアルをご覧になるか、メーカーにお問い合わせください。

■Windows 11 の場合

1 →（設定）の順にクリックします。

2「Bluetooth とデバイス」をクリックし、「デバイスの追加」をクリックします。

3「Bluetooth」をクリックします。

POINT

▸「Bluetooth」が「オフ」の場合は、「オン」にします。

■macOS の場合

1 ホーム画面下側の「システム環境設定」または「システム設定」をクリックし、「Bluetooth」をクリックします。

POINT

▸「Bluetooth：オフ」の場合は、「Bluetooth をオンにする」をクリックし、「Bluetooth：オン」にします。

■iOS/iPadOS の場合

1「設定」Appをタップし、「Bluetooth」をタップします。

POINT

▸「Bluetooth」がオフの場合は、オンにします。

■Android の場合

1「設定」をタップし、「接続設定」→「新しいデバイスとペア設定」の順にタップします。

POINT

▸「Bluetooth」がオフの場合は、オンにします。

■Chrome OS の場合

1 画面右下のバッテリーを選択します。

2「Bluetooth」の文字をクリックし、「新しいデバイスとペア設定」をクリックします。

POINT

▸「Bluetooth」がオフの場合は、オンにします。

2 本製品をペアリングモードにします。

1 電源スイッチをONにします。

2 Fn（Fn キー）を押しながら、設定したい F1（F1 キー）を 3 秒以上長押しします（Function Lock モードが ON の場合は、設定したい F1（F1 キー）を 3 秒以上長押しします）。
Function Lock LED が短い間隔で点滅し、ペアリングモードになります。

Bluetooth デバイスの一覧に「KeyboardX」が表示されます。

3 デバイスを選択し、コードを入力します。

1「KeyboardX」をクリックします。
数字（コード）が表示されます。

2 本製品で、表示された数字をキー入力し、Enter（Enter キー）を押します。
ペアリングが完了します。

POINT

▸再ペアリングする場合は、まず、パソコン／タブレット／スマートフォンに登録したデバイスを削除してください。

・Windows 11 の場合

1. →（設定）→画面左側の「Bluetooth とデバイス」の順にクリックします。
2.「FMV Keyboard X01（接続済み）」または「FMV Keyboard X01（ペアリング済み）」の右上にある をクリックし、「デバイスの削除」をクリックします。
3.「このデバイスを削除しますか？」というメッセージで、「はい」をクリックします。

・macOS の場合
1. ホーム画面下側の「システム環境設定」をクリックし、「Bluetooth」をクリックします。
2.「FMV Keyboard X01（接続済み）」または「FMV Keyboard X01（未接続）」の右側にある「×」をクリックします。
3.「”FMV Keyboard X01” を削除してもよろしいですか？」というメッセージで、「削除」をクリックします。

・iOS/iPadOS の場合
1. ホーム画面下側の「設定」App をタップし、画面左側の「Bluetooth」をタップします。
2.「自分のデバイス」の一覧の「FMV Keyboard X01（接続済み）」または「FMV Keyboard X01（未接続）」の右側にある「i」マークをタップし、「このデバイスの登録を解除」をタップします。
3.「”FMV Keyboard X01” の登録を解除しますか？」というメッセージで、「デバイスの登録を解除」をタップします。

・Android の場合
1.「設定」→「接続設定」の順にタップします。
2. 保存済みのデバイスの下に表示される「FMV Keyboard X01」のとなりにある歯車マークをタップします。
3.「削除」をタップし、「このデバイスとのペア設定を解除」をタップします。

・Chrome OS の場合
1. 画面右下の「〇」をクリックし、「設定」をクリックします。
2. 画面左側の「Bluetooth」をクリックしたら、画面中央の「Bluetooth」をクリックします。
3.「以前に接続したデバイス」または「現在接続中のデバイス」の下の「FMV Keyboard X01」をクリックします。
4.「削除」をクリックし、「このデバイスを削除しますか？」というメッセージで「削除」をクリックします。

その後、手順 1 からペアリングを行ってください。

ペアリングの設定が完了したら、次に「6 入力モードについて」（→ P.12）をご覧になり、接続するパソコン／タブレット／スマートフォンの OS に対応した入力モードを設定します。お使いの OS をあわせて設定することができます。

6　入力モードについて

本製品には、入力モード 1、2、3 があります。入力モードによって、入力できるキーが異なります。詳しくは、次をご覧ください。

●入力モード 1
Windows、Android（日本語配列設定）、Chrome OS と接続することを想定したモードです。詳しくは、「7 キーの各部の名称と働き（入力モード 1 の場合）」（→ P.15）をご覧ください。

●入力モード 2
macOS、iOS/iPadOS（JIS（日本語）設定）と接続することを想定したモードです。詳しくは、「8 キーの各部の名称と働き（入力モード 2 の場合）」（→ P.17）をご覧ください。

●入力モード 3
iOS/iPadOS（ANSI（英語）設定）、Android（英語配列設定）と接続することを想定したモードです。詳しくは、「9 キーの各部の名称と働き（入力モード 3 の場合）」（→ P.19）をご覧ください。

下記の表をご覧になり、接続するパソコン／タブレット／スマートフォンの OS にあわせて、入力モードを設定してください。ご購入時は、入力モード 1 に設定されています。

入力モード	対応 OS
1	Windows 11、Android 13 以降（日本語配列 [注 1]）、Chrome OS
2	macOS 13 以降、iOS/iPadOS 17 以降（JIS(日本語) 設定 [注 2]）
3	iOS/iPadOS 17 以降（ANSI(米国) 設定 [注 3]）、Android 13 以降（英語配列 [注 4]）

注 1：Android の「設定」→「システム」→「キーボード」で、物理キーボードのレイアウト設定が日本語配列の場合。
一部の Android 機種は、日本語配列に設定しても英語配列と認識される場合があるため、「Android の場合」（→ P.13）をご覧になり、入力モードを設定してください。

注 2：iOS/iPadOS の「設定」→「一般」→「ハードウェアキーボード」→「キーボードの種類」で、「JIS(日本語)」を設定している場合

注 3：iOS/iPadOS の「設定」→「一般」→「ハードウェアキーボード」→「キーボードの種類」で、「ANSI(米国)」を設定している場合

注 4 ： Android の「設定」→「システム」→「キーボード」で、物理キーボードのレイアウト設定がデフォルトまたは英語配列の場合

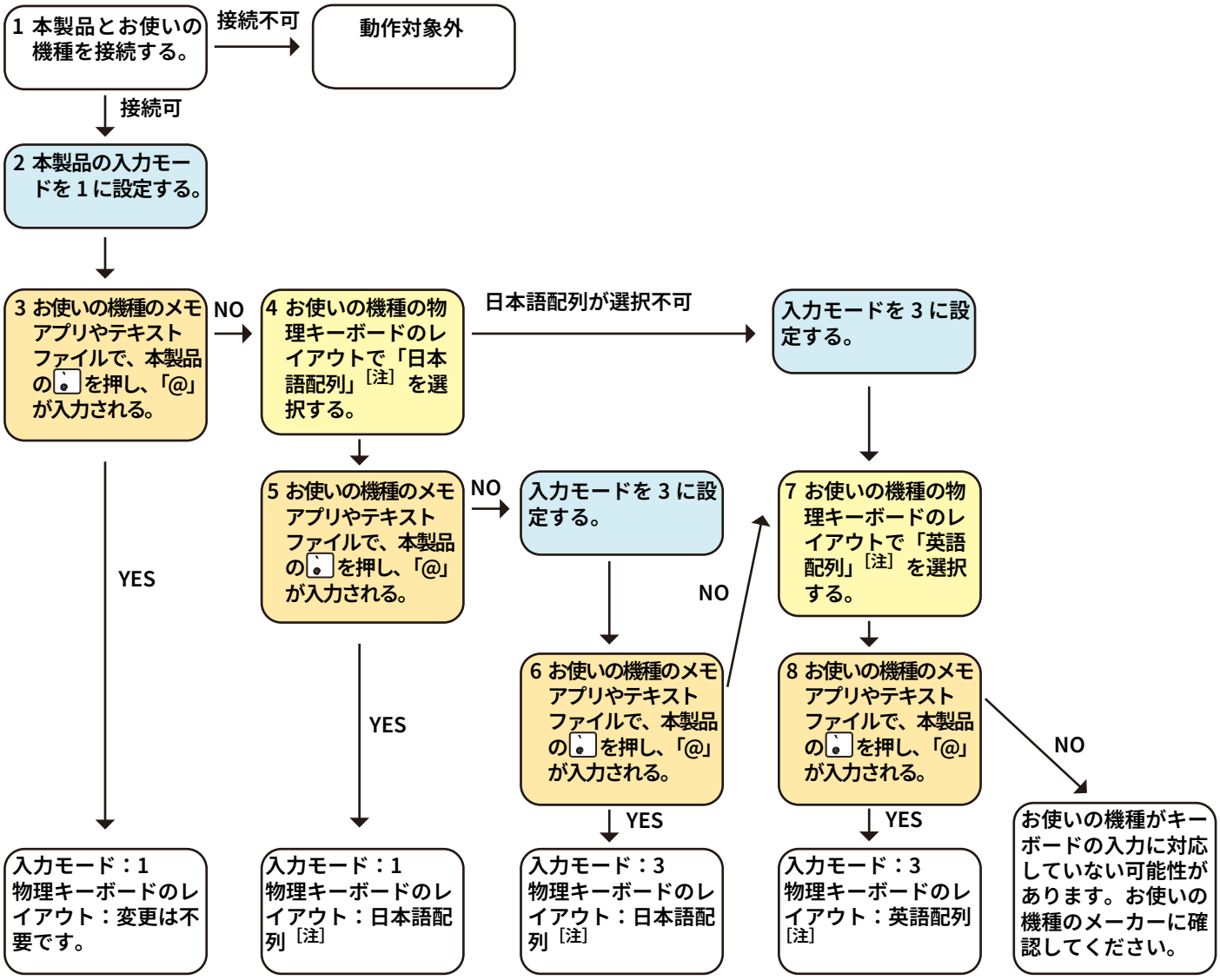
注 1 ～注 4 の設定は一例です。詳しくは、お使いの機種のマニュアルをご確認ください。

入力モードを設定するには、Fn（Fn キー）を押しながら、Q、W、または E を押します。

入力モード	操作	ランプの状態
1	Fn ＋ Q	設定が完了すると、Esc FnLk のランプが緑色に 1 回点滅します。
2	Fn ＋ W	設定が完了すると、Esc FnLk のランプが緑色に 2 回点滅します。
3	Fn ＋ E	設定が完了すると、Esc FnLk のランプが緑色に 3 回点滅します。

Android の場合

Android は、お使いの機種のメーカーや OS のバージョンによって、キーの入力結果が本製品のキーの刻印と異なる場合があります。正しい入力をするためには、お使いの機種に合わせた入力モードの設定が必要です。
また、お使いの機種で物理キーボードのレイアウトを変更する必要な場合があります。
本製品の入力モードの設定と、お使いの機種の物理キーボードのレイアウト変更の手順は、下記をお勧めします。



注 ： Android の機種や OS のバージョンによって、物理キーボードのレイアウト設定の表示が異なる場合があります。

1 **本製品とお使いの機種を接続します。**

2 **本製品の入力モードを 1 に設定します。Fnを押しながら、9を押します。**

3 **正しく文字入力ができるか確認します。**
お使いの機種のメモアプリやテキストファイルで、本製品の9を押し、入力結果を確認してください。
・入力結果が「@」の場合
設定が完了しました。入力モードは 1 を使用してください。お使いの機種の物理キーボードのレイアウト変更は不要です。
・入力結果が「@」以外の場合
お使いの機種で物理キーボードのレイアウト変更が必要です。次の手順に進んでください。

4 **お使いの機種の物理キーボードのレイアウトを「日本語配列」に変更します。**
・Android 13 以前の場合
「設定」→「システム」→「言語と入力」→「キーボード」→「物理キーボード」→「FMV Keyboard X01」をタップし、「日本語配列」を選択します。
・Android 14 の場合
「設定」→「システム」→「キーボード」→「物理キーボード」→「FMV Keyboard X01」をタップし、「日本語配列」を選択します。
レイアウトの変更が完了したら次に進みます。
「日本語配列」を選択できない場合、入力モードを 3 に設定し、手順 7 に進んでください。

5 **現在の設定で、正しく文字入力ができるか確認します。**
お使いの機種のメモアプリやテキストファイルで、本製品の9を押し、入力結果を確認してください。
・入力結果が「@」の場合
設定が完了しました。物理キーボードのレイアウトは日本語配列、入力モードは 1 を使用してください。
・入力結果が「@」以外の場合
本製品で入力モードの変更が必要です。入力モードを 3 に設定します。

6 **現在の設定で、正しく文字入力ができるか確認します。**
お使いの機種のメモアプリやテキストファイルで、本製品の9を押し、入力結果を確認してください。
・入力結果が「@」の場合
設定が完了しました。物理キーボードのレイアウトは日本語配列、入力モードは 3 を使用してください。
・入力結果が「@」以外の場合
お使いの機種で物理キーボードのレイアウト変更が必要です。手順 7 に進んでください。

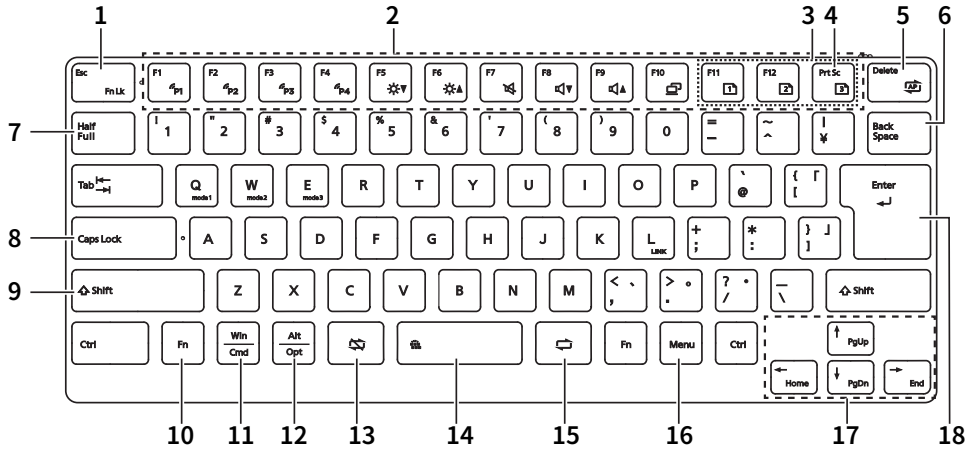
7 **お使いの機種の物理キーボードのレイアウトを「英語配列」に変更します。**
・Android 13 以前の場合
「設定」→「システム」→「言語と入力」→「キーボード」→「物理キーボード」→「FMV Keyboard X01」をタップし、「英語配列」を選択します。
・Android 14 の場合
「設定」→「システム」→「キーボード」→「物理キーボード」→「FMV Keyboard X01」をタップし、「英語配列」を選択します。

8 **現在の設定で、正しく文字入力ができるか確認します。**
お使いの機種のメモアプリやテキストファイルで、本製品の9を押し、入力結果を確認してください。
・入力結果が「@」の場合
設定が完了しました。物理キーボードのレイアウトは英語配列、入力モードは 3 を使用してください。
・入力結果が「@」以外の場合
お使いの機種がキーボードの入力に対応していない可能性があります。お使いの機種のメーカーに確認してください。

上記の手順は一例です。「物理キーボード」の設定画面が表示できなかった場合は、「設定」アプリで「物理キーボード」や「キーボード」などを入力して、検索してください。表示されない場合は、お使いの機種のマニュアルをご覧になるか、メーカーにお問い合わせください。

7　キーの各部の名称と働き（入力モード 1 の場合）

対応 OS：Windows 11、Android 13 以降（日本語配列）、Chrome OS



1 Esc キー
現在の作業を取り消します。

2 ファンクションキー
アプリごとにいろいろな機能が割り当てられています。キーの下側の刻印の機能は、Fn を押しながらファンクションキーを押して使います。

3 メモリーキー 1、2、3
最大 50 キー分のキー操作を記憶し、登録した操作を実行できます。詳しくは、「10 メモリー機能について」（→ P.21）をご覧ください。

4 Print Screen キー
Print Screen として動作し、画面に表示されている内容を画像としてコピーできます。

5 Delete キー
カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

6 Back Space キー
カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

7 Half Full（半角／全角）キー
キーを押すたびに、半角入力／全角入力を切り替えます。全角入力にすると、日本語を入力できます。

8 Caps Lock キー
Shift を押しながらこのキーを押して、英大文字入力／小文字入力を切り替えます。

9 Shift キー
このキーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている記号を入力できます。

10 Fn キー
Fn を押しながら、キーの下側に刻印があるキーを押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

- **Fn ＋ Esc Fn Lk　：キーを押すごとに、Function Lock モードの ON ／ OFF を切り替えます。Function Lock モードを ON にすると、Fn を押さずにファンクションキーを押すだけでファンクションキーの右下の刻印の機能を使用できます。Function Lock モードが ON の間は、Function Lock LED が点灯します。**
- **Fn ＋ F1　：3 秒未満の短押しでペアリング 1 に接続を切り替えます。3 秒以上の長押しでペアリング 1 のペアリングモードに入ります。**
- **Fn ＋ F2　：3 秒未満の短押しでペアリング 2 に接続を切り替えます。3 秒以上の長押しでペアリング 2 のペアリングモードに入ります。**
- **Fn ＋ F3　：3 秒未満の短押しでペアリング 3 に接続を切り替えます。3 秒以上の長押しでペアリング 3 のペアリングモードに入ります。**
- **Fn ＋ F4　：3 秒未満の短押しでペアリング 4 に接続を切り替えます。3 秒以上の長押しでペアリング 4 のペアリングモードに入ります。**

Fn ＋ F5 ：画面の明るさを暗くします。

Fn ＋ F6 ：画面の明るさを明るくします。

Fn ＋ F7 ：音声出力の ON ／ OFF を切り替えます。

Fn ＋ F8 ：音量を小さくします。

Fn ＋ F9 ：音量を大きくします。

Fn ＋ F10 ：お使いの機種と外部ディスプレイを接続した場合に、液晶ディスプレイと外部ディスプレイで表示先や表示方法を切り替えます。

Fn ＋ F11 ：「1」には、最大 50 キー分のキー操作を記憶し、登録した操作を実行できます。詳しくは、「10 メモリー機能について」（→ P.21）をご覧ください。

Fn ＋ F12 ：「2」には、最大 50 キー分のキー操作を記憶し、登録した操作を実行できます。詳しくは、「10 メモリー機能について」（→ P.21）をご覧ください。

Fn ＋ PrtSc ：「3」には、最大 50 キー分のキー操作を記憶し、登録した操作を実行できます。詳しくは、「10 メモリー機能について」（→ P.21）をご覧ください。

Fn ＋ Delete ：キーの反応する深さを 3 段階で切り替えます。
キーを押すごとに、おすすめ設定→深め設定→浅め設定→おすすめ設定の順に切り替わります。

Esc キーのランプ		キーの深さの設定
緑色	1 回点滅	おすすめ設定
	2 回点滅	深め設定
	3 回点滅	浅め設定

Fn ＋ Q ：入力モードを 1 に切り替えます。

Fn ＋ W ：入力モードを 2 に切り替えます。

Fn ＋ E ：入力モードを 3 に切り替えます。

Fn ＋ L ：FMV Link（連動機能）のオン／オフを切り替えます。FMV Link については、『FMV Link 操作ガイド』をご覧ください。

Fn ＋ ：キーボードバックライト（キーの周囲のライト）の点灯／消灯が次のように切り替わります。

消灯 → 点灯（暗い）→ 点灯（標準）→ 点灯（明るい）

Fn ＋ Home ：カーソルを行の最初に移動します。

Fn ＋ PgUp ：前の画面に切り替えます。

Fn ＋ PgDn ：次の画面に切り替えます。

Fn ＋ End ：カーソルを行の最後に移動します。

11 Win/Cmd キー
Windows キーとして動作します。

12 Alt/Opt キー
Alt キーとして動作します。

13 無変換キー
無変換キーとして動作します。

14 空白（Space）キー
空白を入力します。

15 変換キー
変換キーとして動作します。

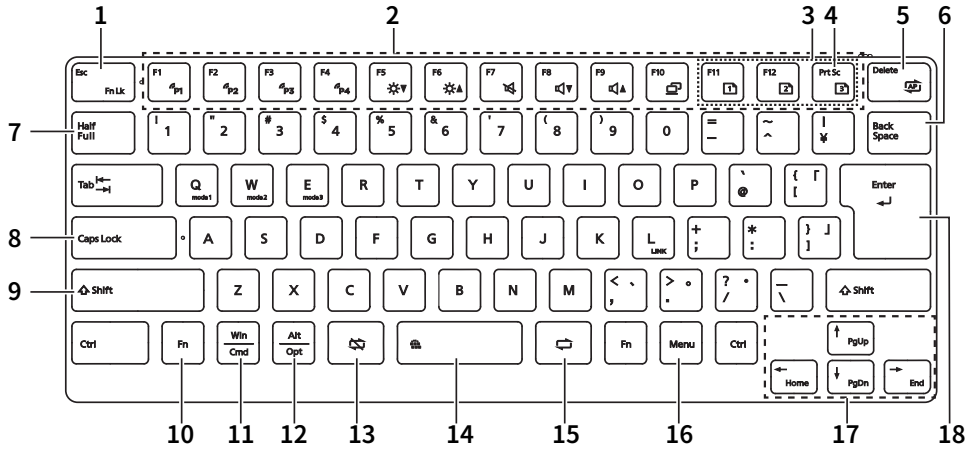
16 Menu キー
マウスの右クリックと同じメニューを表示します。

17 カーソルキー
カーソルを上下左右に移動します。

18 Enter キー
入力した文字を確定したり、改行したりします。

8　キーの各部の名称と働き（入力モード 2 の場合）

対応 OS：macOS 13 以降、iOS/iPadOS 17 以降（JIS(日本語) 設定）



1 Esc キー
現在の作業を取り消します。

2 ファンクションキー
アプリごとにいろいろな機能が割り当てられています。キーの下側の刻印の機能は、Fn を押しながらファンクションキーを押して使います。

3 メモリーキー 1、2、3
最大 50 キー分のキー操作を記憶し、登録した操作を実行できます。詳しくは、「10 メモリー機能について」（→ P.21）をご覧ください。

4 Print Screen キー
command ＋ shift ＋ 3 キーとして動作し、スクリーンショットを撮影します。

5 Delete キー
カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

6 Back Space キー
カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

7 Half Full（半角／全角）キー
control ＋ option ＋ space キーとして動作し、入力言語を切り替えます。

8 Caps Lock キー
英大文字入力／小文字入力を切り替えます。

9 Shift キー
このキーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている記号を入力できます。

10 Fn キー
Fn を押しながら、キーの下側に刻印があるキーを押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

Fn ＋ Esc Fn Lk　：キーを押すごとに、Function Lock モードの ON ／ OFF を切り替えます。
Function Lock モードを ON にすると、Fn を押さずにファンクションキーを押すだけでファンクションキーの右下の刻印の機能を使用できます。
Function Lock モードが ON の間は、Function Lock LED が点灯します。

Fn ＋ F1　：3 秒未満の短押しでペアリング 1 に接続を切り替えます。3 秒以上の長押しでペアリング 1 のペアリングモードに入ります。

Fn ＋ F2　：3 秒未満の短押しでペアリング 2 に接続を切り替えます。3 秒以上の長押しでペアリング 2 のペアリングモードに入ります。

Fn ＋ F3 ：3 秒未満の短押しでペアリング 3 に接続を切り替えます。3 秒以上の長押しでペアリング 3 のペアリングモードに入ります。

Fn ＋ F4 ：3 秒未満の短押しでペアリング 4 に接続を切り替えます。3 秒以上の長押しでペアリング 4 のペアリングモードに入ります。

Fn ＋ F5 ：画面の明るさを暗くします。

Fn ＋ F6 ：画面の明るさを明るくします。

Fn ＋ F7 ：音声出力の ON ／ OFF を切り替えます。

Fn ＋ F8 ：音量を小さくします。

Fn ＋ F9 ：音量を大きくします。

Fn ＋ F10 ：command ＋画面の輝度を下げるとして動作し、お使いの機種と外部ディスプレイを接続した場合に、液晶ディスプレイと外部ディスプレイで表示先や表示方法を切り替えます。

Fn ＋ F11 ：「1」には、最大 50 キー分のキー操作を記憶し、登録した操作を実行できます。詳しくは、「10 メモリー機能について」（→ P.21）をご覧ください。

Fn ＋ F12 ：「2」には、最大 50 キー分のキー操作を記憶し、登録した操作を実行できます。詳しくは、「10 メモリー機能について」（→ P.21）をご覧ください。

Fn ＋ PrtSc ：「3」には、最大 50 キー分のキー操作を記憶し、登録した操作を実行できます。詳しくは、「10 メモリー機能について」（→ P.21）をご覧ください。

Fn ＋ Delete ：キーの反応する深さを 3 段階で切り替えます。
キーを押すごとに、おすすめ設定→深め設定→浅め設定→おすすめ設定の順に切り替わります。

Esc キーのランプ		キーの深さの設定
緑色	1 回点滅	おすすめ設定
	2 回点滅	深め設定
	3 回点滅	浅め設定

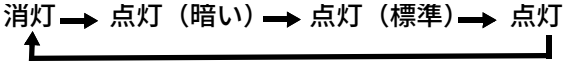
Fn ＋ Q ：入力モードを 1 に切り替えます。

Fn ＋ W ：入力モードを 2 に切り替えます。

Fn ＋ E ：入力モードを 3 に切り替えます。

Fn ＋ L ：FMV Link（連動機能）のオン／オフを切り替えます。FMV Link については、『FMV Link 操作ガイド』をご覧ください。

Fn ＋ ：キーボードバックライト（キーの周囲のライト）の点灯／消灯が次のように切り替わります。



Fn ＋ Home ：カーソルを行の最初に移動します。

Fn ＋ PgUp ：前の画面に切り替えます。

Fn ＋ PgDn ：次の画面に切り替えます。

Fn ＋ End ：カーソルを行の最後に移動します。

11 Win/Cmd キー
command キーとして動作します。

12 Alt/Opt キー
option キーとして動作します。

13 無変換キー
英数キーとして動作し、英数入力に切り替えます。

14 空白（Space）キー
空白を入力します。

15 変換キー
かなキーとして動作し、かな入力に切り替えます。

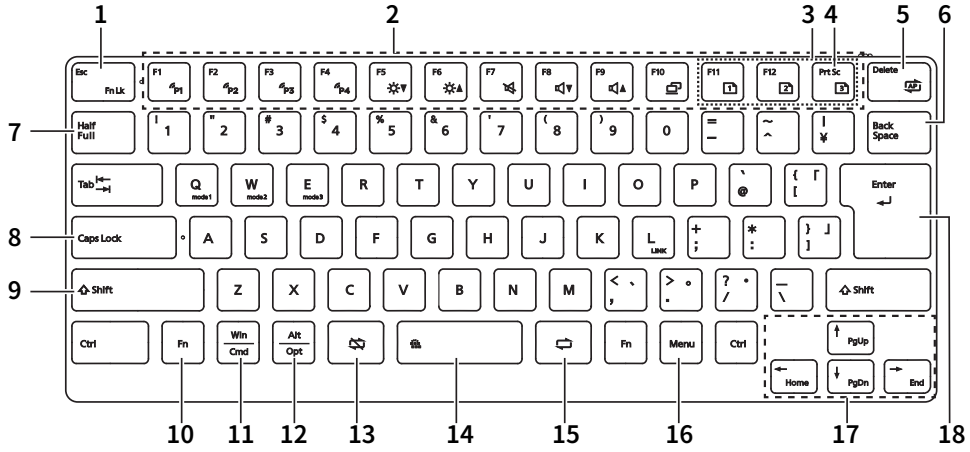
16 Menu キー
マウスの右クリックと同じメニューを表示します。

17 カーソルキー
カーソルを上下左右に移動します。

18 Enter キー
入力した文字を確定したり、改行したりします。

9　キーの各部の名称と働き（入力モード 3 の場合）

対応 OS：iOS/iPadOS 17 以降（ANSI(米国) 設定）、Android 13 以降（英語配列）



1 Esc キー
現在の作業を取り消します。

2 ファンクションキー
アプリごとにいろいろな機能が割り当てられています。キーの下側の刻印の機能は、Fn を押しながらファンクションキーを押して使います。

3 メモリーキー 1、2、3
最大 50 キー分のキー操作を記憶し、登録した操作を実行できます。詳しくは、「10 メモリー機能について」（→ P.21）をご覧ください。

4 Print Screen キー
command ＋ shift ＋ 3 キーとして動作し、スクリーンショットを撮影します。Android 13 以降（英語配列）では動作しません。

5 Delete キー
カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

6 Back Space キー
カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

7 Half Full（半角／全角）キー
control ＋ space キーとして動作し、入力言語を切り替えます。Android 13 以降（英語配列）では動作しません。

8 Caps Lock キー
英大文字入力／小文字入力を切り替えます。

9 Shift キー
このキーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている記号を入力できます。

10 Fn キー

Fnを押しながら、キーの下側に刻印があるキーを押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

Fn ＋ Esc Fn Lk　：キーを押すごとに、Function Lock モードの ON ／ OFF を切り替えます。
Function Lock モードを ON にすると、Fnを押さずにファンクションキーを押すだけでファンクションキーの右下の刻印の機能を使用できます。
Function Lock モードが ON の間は、Function Lock LED が点灯します。

Fn ＋ F1　：3 秒未満の短押しでペアリング 1 に接続を切り替えます。3 秒以上の長押しでペアリング 1 のペアリングモードに入ります。

Fn ＋ F2　：3 秒未満の短押しでペアリング 2 に接続を切り替えます。3 秒以上の長押しでペアリング 2 のペアリングモードに入ります。

Fn ＋ F3　：3 秒未満の短押しでペアリング 3 に接続を切り替えます。3 秒以上の長押しでペアリング 3 のペアリングモードに入ります。

Fn ＋ F4　：3 秒未満の短押しでペアリング 4 に接続を切り替えます。3 秒以上の長押しでペアリング 4 のペアリングモードに入ります。

Fn ＋ F5　：画面の明るさを暗くします。

Fn ＋ F6　：画面の明るさを明るくします。

Fn ＋ F7　：音声出力の ON ／ OFF を切り替えます。

Fn ＋ F8　：音量を小さくします。

Fn ＋ F9　：音量を大きくします。

Fn ＋ F10　：動作しません。

Fn ＋ F11　：「1」には、最大 50 キー分のキー操作を記憶し、登録した操作を実行できます。詳しくは、「10 メモリー機能について」（→ P.21）をご覧ください。

Fn ＋ F12　：「2」には、最大 50 キー分のキー操作を記憶し、登録した操作を実行できます。詳しくは、「10 メモリー機能について」（→ P.21）をご覧ください。

Fn ＋ PrtSc　：「3」には、最大 50 キー分のキー操作を記憶し、登録した操作を実行できます。詳しくは、「10 メモリー機能について」（→ P.21）をご覧ください。

Fn ＋ Delete　：キーの反応する深さを 3 段階で切り替えます。
キーを押すごとに、おすすめ設定→深め設定→浅め設定→おすすめ設定の順に切り替わります。

Esc キーのランプ		キーの深さの設定
緑色	1 回点滅	おすすめ設定
	2 回点滅	深め設定
	3 回点滅	浅め設定

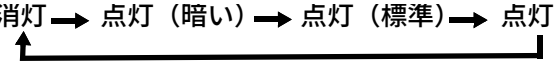
Fn ＋ Q　：入力モードを 1 に切り替えます。

Fn ＋ W　：入力モードを 2 に切り替えます。

Fn ＋ E　：入力モードを 3 に切り替えます。

Fn ＋ L　：FMV Link（連動機能）のオン／オフを切り替えます。FMV Link については、『FMV Link 操作ガイド』をご覧ください。

Fn ＋ 　：キーボードバックライト（キーの周囲のライト）の点灯／消灯が次のように切り替わります。



Fn ＋ Home　：カーソルを行の最初に移動します。

Fn ＋ PgUp　：前の画面に切り替えます。

Fn ＋ PgDn　：次の画面に切り替えます。

Fn ＋ End　：カーソルを行の最後に移動します。

11 Win/Cmd キー
Windows キーまたは command キーとして動作します。

12 Alt/Opt キー
Alt キーまたは option キーとして動作します。

13 無変換キー
英数キーとして動作し、英数入力に切り替えます。

14 空白（Space）キー
空白を入力します。

15 変換キー
かなキーとして動作し、かな入力に切り替えます。

16 Menu キー
マウスの右クリックと同じメニューを表示します。

17 カーソルキー
カーソルを上下左右に移動します。

18 Enter キー
入力した文字を確定したり、改行したりします。

10 メモリー機能について

メモリー機能とは、F1～F3（メモリーキー 1 ～ 3）に、入力したキーを 50 キーまで記憶させ、そのキーを押すことで、ワンタッチで実行できる機能です。
複雑なキーの入力を、メモリーキーに記憶させることで、メモリーキーを 1 回押すだけで実行できるため、キー操作が簡単にできるようになります。よくお使いになるショートカットキーやメールアドレス、定型文などを、メモリーキーの 3 個まで登録することができます。

メモリーキーにキーコマンドを登録する

ここでは、F1（メモリーキー 1）に登録する方法を説明します。

1 記録モードを開始します。

1 Fn＋キーコマンドを記録させたいF1（メモリーキー 1）を約3秒長押しします。
記録モードが開始され、記録させたいF1（メモリーキー 1）のランプが緑色に点滅します。

2 任意のキーコマンド（ショートカットキーやメールアドレスなど）を入力します。

右側にあるFnは約 1 秒待機するキーとしてお使いいただけます。
・記憶させるキーの例
Windows のショートカット：スクリーンショット（Win/Cmd ＋ Shift ＋ S）
文字列：メールアドレス（xxxxxxxxxx@xx.jp）を入力する
Windowsのアプリ起動:カメラアプリ（Win/Cmd→右側にあるFn（約1秒待つ）→C→A→M→E→R→A→Enter）

POINT

- **キーの下側の刻印の機能は、記録させることができません（←Home、↑PgUp、←Home、→End を除きます）。**
- **記録モード中にキーコマンドの入力が 50 キーを超えた場合と記録モード開始から約 200 秒経過した場合は、記録させたいF1（メモリーキー 1）のランプが 3 回赤色に点滅し、記録モードを終了します。終了するまでに入力したキーコマンドは記録されず、メモリーキーに記録されていたキーコマンドは消去されます。**

3 キーの入力が完了したら、Fn＋F1（メモリーキー 1）を押し、記録モードを終了します。

キーコマンドが記録され、F1（メモリーキー 1）のランプが緑色に 2 回点滅します。

POINT

- 記録させたい（メモリーキー 1）のランプが赤く点滅した場合は、キーコマンドの入力時に 50 キーを超えたか、記録モードの開始から約 200 秒経過し、記録モードが終了した可能性があります。
- キーコマンドを入力しないで記録モードを終了した場合は、メモリーキーに記録されていたキーコマンドが消去されます。

4 Fn＋（メモリーキー 1）を押します。
（メモリーキー 1）に記録されたキーコマンドが実行されます。

POINT

- キーコマンドの実行中にキーを押すと、キーコマンドにキーの入力が割り込みます。

11 バッテリーを充電する

重要

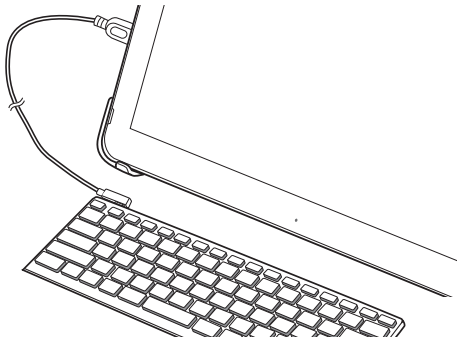
- パソコン／タブレットが電源オフ、休止、スタンバイ状態の場合、本製品の充電ができないことがあります。
- バッテリーの残量がなくなった場合またはバッテリーの残量が 0% になった場合に充電を始めると、満充電までにはバックライトが消灯の状態で約 6 時間 [注] かかります。

注 ： お使いの環境によって充電時間は異なります。

POINT

- USB ケーブルの接続時は、電源スイッチの位置にかかわらず、USB ケーブル経由で電源が供給されます。

1 添付の USB ケーブルをパソコン／タブレットの USB コネクタと本製品の USB Type-C コネクタに接続します。



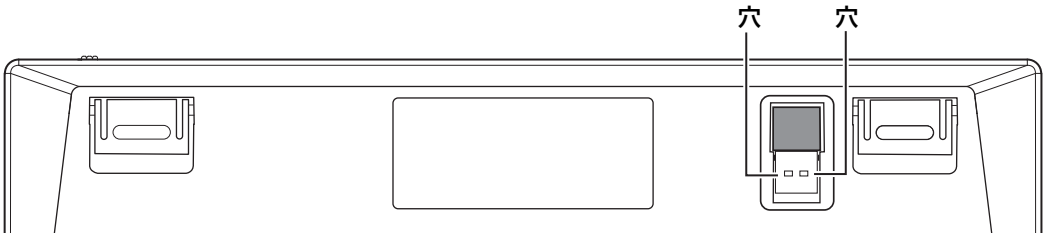
2 充電が始まると、電源ランプが、白色または赤色に点灯または点滅します。
電源ランプは、そのときのバッテリーの残量に合わせ、赤色点滅→赤色点灯→白色点滅→白色点灯に切り替わります。

3 充電が完了すると、電源ランプが常時白色に点灯します。

12 USB レシーバーを収納する

USB レシーバーを使用しない場合は、本製品の裏面に収納してください。

1 キーボードを裏返して、USB レシーバーの穴の空いている面を上にして、入れます。



13 トラブルシューティング

本製品から入力したキーボード操作がうまく動作しない場合に、まず次の操作を行ってください。

1 電源スイッチを OFF にします。

2 お使いの機種から USB レシーバーを取り外します。再度、お使いの機種に USB レシーバーを接続します。

3 USB ケーブルを接続している場合は、お使いの機種と本製品から USB ケーブルを取り外します。再度、お使いの機種と本製品に USB ケーブルを接続します。

4 USB レシーバーおよび Bluetooth 通信の場合は、電源スイッチを ON にします。

この操作をしても解決しない場合は、次の表をご覧になり、対処方法を行ってください。

現象	原因	対処
本製品からのキー入力の一部がパソコン／タブレット／スマートフォンに入力されないことがある。	周囲の電波状況が悪い可能性がある。	電源スイッチをいったん OFF にして、再度 ON にしてください。現象が改善されない場合は、設置場所を変更するか USB レシーバーの接続または USB ケーブル接続に切り替えてください。USB レシーバーおよび USB ケーブルの接続方法については、『スタートガイド』をご覧ください。
	バッテリーの残量が低下している可能性がある。	電源スイッチをいったん OFF にして、再度 ON にしてください。 ON にしたときに電源ランプが点灯しない場合や、赤色点滅する場合は、残量が低下しています。 本製品とパソコン／タブレットを添付の USB ケーブルで接続し、バッテリーを充電してください（→ P.22）。
本製品からのキー入力がパソコン／タブレット／スマートフォンに入力され続ける。	周囲の電波状況が悪い可能性がある。	電源スイッチをいったん OFF にして、再度 ON にしてください。現象が改善されない場合は、設置場所を変更するか USB レシーバーの接続または USB ケーブル接続に切り替えてください。USB レシーバーおよび USB ケーブルの接続方法については、『スタートガイド』をご覧ください。
本製品からキーを数秒以上入力せず、その後キー入力をすると、数秒間キーがパソコン／タブレット／スマートフォンに入力できない。	本製品およびパソコン／タブレット／スマートフォンの省電力設定が影響している。	もう一度キーを入力してください。
		Windows の場合は、パソコン／タブレットの電源オプションの設定を変更してください（→ P.27）。

現象	原因	対処
本製品からキーを数秒以上入力せず、その後キー入力をすると、パソコン／タブレットにまったく入力できない。	パソコン／タブレットの省電力設定が影響している。	Windows の場合は、パソコン／タブレットの電源オプションの設定を変更してください（→ P.27）。
Bluetooth 通信で本製品から入力したキーが、パソコン／タブレット／スマートフォンに入力できない。	電源スイッチが OFF になっている。	電源スイッチを ON にしてください。
	バッテリーが切れている。	電源スイッチをいったん OFF にして、再度 ON にしてください。ON にしたときに電源ランプが点灯しない場合、バッテリーが切れています。本製品とパソコン／タブレットを添付の USB ケーブルで接続し、バッテリーを充電してください（→ P.22）。
	ペアリングの状態に問題がある。	本製品とパソコン／タブレット／スマートフォンのペアリングをいったん解除し、再度ペアリングをしてください。ペアリングの方法については、「5 Bluetooth ワイヤレステクノロジーで接続する」（→ P.10）をご覧ください。
	周囲の電波状況が悪い可能性がある。	電源スイッチをいったん OFF にして、再度 ON にしてください。現象が改善されない場合は、設置場所を変更するか USB レシーバーの接続または USB ケーブル接続に切り替えてください。USB レシーバーおよび USB ケーブルの接続方法については、『スタートガイド』をご覧ください。
	入力モードが違う可能性がある。	「6 入力モードについて」（→ P.12）をご覧になり、使いたい入力モードに切り替えてください。
USB レシーバーを接続し、USB 通信で本製品から入力したキーが、パソコン／タブレットに入力できない。	USB レシーバーが正しく接続されていない。	本製品とパソコン／タブレットから USB レシーバーを取り外し、再度接続してください。USB レシーバーの接続方法については、『スタートガイド』をご覧ください。
	本製品は 10 分間入力がないと、バッテリーの消耗を抑えるために USB 通信が切断されます。	もう一度キーを入力してください。
	入力モードが違う可能性がある。	「6 入力モードについて」（→ P.12）をご覧になり、使いたい入力モードに切り替えてください。
	USB レシーバーとキーボードのペアリングが解除されている可能性がある。	USB レシーバーとキーボードをペアリングする方法については、『スタートガイド』をご覧ください。
USB ケーブルを接続し、USB 通信で本製品から入力したキーが、パソコン／タブレットに入力できない。	USB ケーブルが正しく接続されていない。	本製品とパソコン／タブレットを接続している USB ケーブルを取り外し、再度接続してください。USB ケーブルの接続方法については、『スタートガイド』をご覧ください。
	入力モードが違う可能性がある	「6 入力モードについて」（→ P.12）をご覧になり、使いたい入力モードに切り替えてください。
	電源スイッチが ON になっている。	電源スイッチを OFF にしてください。
電源ランプが赤く点滅（点灯）している。	バッテリーの残量が低下している。	本製品とパソコン／タブレットを添付の USB ケーブルで接続し、バッテリーを充電してください（→ P.22）。

現象	原因	対処
Function Lock LED が白色に長い間隔で点滅している。	ペアリング済みのパソコン／タブレット／スマートフォンを探している。または接続先を探している。	本製品の Fn と F1〜F4 をいっしょに押すと、接続先を切り替えることができます。数秒待つと点滅が点灯に代わり入力が可能になります。 Bluetooth 接続で点滅が続くまたは点滅が止まっても入力できない場合は、本製品とパソコン／タブレット／スマートフォンのペアリングをいったん解除し、再度ペアリングをしてください。ペアリングの方法については、「5 Bluetooth ワイヤレステクノロジーで接続する」（→ P.10）をご覧ください。 USB レシーバー接続で点滅が続くまたは点滅が止まっても入力できない場合は、USB レシーバーとキーボードの再ペアリングをお試しください。USB レシーバーの接続方法については、『スタートガイド』をご覧ください。
Function Lock LED が白色に短い間隔で点滅している。	ペアリングモードになっている。	本製品の Fn と F1〜F4 をいっしょに 3 秒以上押すと、ペアリングモードとなります。約 60 秒たつと点滅が止まり再度入力が可能になります。 Bluetooth 接続で点滅が止まっても入力ができない場合は、本製品とパソコン／タブレット／スマートフォンのペアリングをいったん解除し、再度ペアリングをしてください。ペアリングの方法については、「5 Bluetooth ワイヤレステクノロジーで接続する」（→ P.10）をご覧ください。 USB レシーバー接続で点滅が止まっても入力できない場合は、USB レシーバーとキーボードの再ペアリングをお試しください。USB レシーバーの接続方法については、『スタートガイド』をご覧ください。
Caps Lock LED が数秒ごとに消灯する。	Caps Lock が ON になっている状態で、本製品が省電力状態に入っている。	本製品は省電力のため、Caps Lock が ON の状態では数秒ごとに消灯します。正常な動作ですのでそのままお使いください。
ペアリング後使用できない。再接続できない。	iPadOS でペアリング時のコードの入力を間違えている。	再度ペアリングをお試しください。 詳しくは、「5 Bluetooth ワイヤレステクノロジーで接続する」（→ P.10）をご覧ください。
iPadOS でかな入力を行うと違う文字が入力される。	iPad との接続の制約により、内部的に英語キーボードとして認識されています。そのため、キー印字どおりにアルファベットおよびローマ字入力を行えるよう、エミュレーションを行っております。	英語配列をエミュレーションしているため、一部のかな入力のキーについては別の文字が入力されますが、下記のキーにて入力を行うことが可能です。 ぉ：~ ^　や：Shift＋6　ゆ：Shift＋: ょ：Shift＋(8　」：Shift＋{ 「　を：Shift＋)9 ゜：Shift＋=~　へ：|¥　゛：}+ ふ：`@　「：Shift＋+;　け：Shift＋'7 ろ：Shift＋"2
ユニバーサルコントロールの使用時、キーが正しく入力できない。	macOS から iPadOS を操作する場合、macOS では JIS キーボードとして認識されていますが、iPadOS では US キーボードとして認識されるため、入力を正しく行うことができません。 逆に iPadOS から macOS を操作する場合は、iPadOS での Caps Lock キーへの設定は反映されません。	本動作は仕様です。本製品はユニバーサルコントロールには対応していません。他の OS の操作時は Fn＋Q、W、または E で切り替えて、操作してください。
BIOS でキーの入力ができない。	本製品が Bluetooth 接続になっている。	Bluetooth の仕様で、BIOS 画面で Bluetooth 接続をすることはできません。USB レシーバー接続または USB ケーブル接続をお試しください。

現象	原因	対処
macOS で Bluetooth 通信をすると、起動時のパスワード入力ができない。	FileVault がオンになっている。	次のいずれかの対処方法を行ってください。 ・FileVault をオフにする。 ・Mac 本体のキーボードでパスワードを入力する。 ・本製品の電源スイッチを OFF にした後、本製品と Mac本体を添付のUSBケーブルで接続しパスワードを入力する。
入力したキーが異なる。	入力モードが違う可能性がある。	「6 入力モードについて」（→ P.12）をご覧になり、使いたい入力モードに切り替えてください。
Half Full（半角／全角）キーが効かない、操作できない。	入力モードが違う可能性がある。	「6 入力モードについて」（→ P.12）をご覧になり、使いたい入力モードに切り替えてください。
変換キーが効かない、操作できない。	入力モードが違う可能性がある。	「6 入力モードについて」（→ P.12）をご覧になり、使いたい入力モードに切り替えてください。
無変換キーが効かない、操作できない。	入力モードが違う可能性がある。	「6 入力モードについて」（→ P.12）をご覧になり、使いたい入力モードに切り替えてください。
Android で、日本語入力と英語入力の言語切り替えができない。	入力している言語切り替えキーが間違っている可能性がある。	Android はお使いの機種やメーカー、OS のバージョンによって、言語切り替えキーが異なります。言語切り替えは Half Full（半角／全角）キー、Shift ＋ Space キー、Ctrl ＋ Space キー、Win/Cmd ＋ Space キー、変換キー、無変換キー、Alt/Opt キーなどをお試しください。上記のキーで切り替えができない場合は、お使いの機種のマニュアルをご確認ください。
	お使いの機種で「言語」を追加する設定、「画面キーボード」を追加する設定が必要な可能性がある。	「● Android で、日本語入力と英語入力の切り替えがうまくいかない場合」（→ P.28）をご覧になり、「言語」を追加する設定、「画面キーボード」を追加する設定をお試しください。
Android で物理キーボード設定の日本語配列を選択したが、本製品の入力モード 1 で、「@」などの記号キーが正しく入力できない。	お使いの機種が、日本語配列に設定しても英語配列として動作する仕様の可能性がある。	本製品で入力モード 3 をお試しください。入力モードの設定は、「6 入力モードについて」（→ P.12）をご覧ください。
USB レシーバーをキーボードに再ペアリングさせようとしても、接続が完了しない。	USB レシーバーとキーボードの距離が離れている。 USB レシーバーとキーボードの間に物がある。	USB レシーバーを再ペアリングさせるときは、USB レシーバーとキーボードの距離を約 10cm 以内に保ち、間に物がないことを確認してください。
Bluetooth のペアリングができない。	お使いの機種の Bluetooth 設定が「オフ」になっている。	お使いの機種の Bluetooth 設定を確認し、設定を「オン」にしてください。
本製品をパソコンに接続すると、パソコン本体のタッチパッドまたはトラックパッドが使えない。	お使いのパソコンで、マウスの接続時に内蔵タッチパッドまたはトラックパッドを無効にする設定が有効になっている。	本製品の仕様により、キーボードとマウスの複合デバイスとして認識されるため、本現象が発生する場合があります。お使いの OS にあわせて、次の設定を行ってください。 ・Windows 11 の場合 1 →（設定）→「Bluetooth とデバイス」→「タッチパッド」→「タッチパッド」の順にクリックします。 2「マウスの接続時にタッチパッドをオフにしない」の □ をクリックし、☑ にします。 ・macOS の場合 1「システム設定」→「アクセシビリティ」→「ポインタコントロール」の順にクリックし、「マウスまたはワイヤレストラックパッドがあるときは内蔵トラックパッドを無視」をオフにします。

現象	原因	対処
本製品のアップデート後に、Bluetooth 接続または USB レシーバー接続で本製品の操作ができない。	本製品のアップデート後は、一度ペアリングを解除してから再度ペアリングを行う必要があります。	Bluetooth 接続で操作ができない場合は、本製品とパソコン／タブレット／スマートフォンのペアリングをいったん解除し、再度ペアリングをしてください。ペアリングの方法については、「5 Bluetooth ワイヤレステクノロジーで接続する」（→ P.10）をご覧ください。 USB レシーバー接続で操作できない場合は、USB レシーバーと本製品の再ペアリングをお試しください。 USB レシーバーの接続方法については、『スタートガイド』をご覧ください。

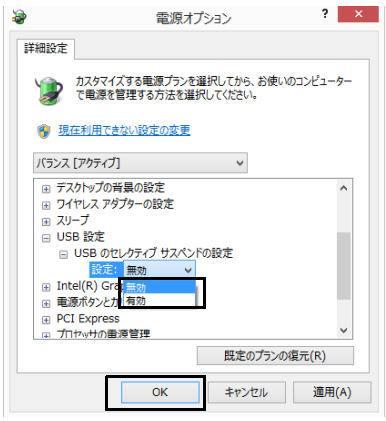
14 注意事項

本製品を使うときの注意事項について説明します。

● Bluetooth 通信と Windows の省電力機能のタイミングにより、次のような現象が発生する場合は、パソコン／タブレットの電源オプションの設定を変更することで、改善されることがあります。
- キーの入力が一瞬できなくなり、しばらくすると入力ができるようになる。
- キーの入力が遅れて表示される。
- 連続で同じキーが入力される。

次に、電源オプションの設定について説明します。

1 →「すべてのアプリ」→「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。
2 「ハードウェアとサウンド」をクリックします。
3 「電源オプション」をクリックします。
4 電源プランの一覧から使用している電源プランの「プラン設定の変更」をクリックします。
5 「詳細な電源設定の変更」をクリックします。
「電源オプション」ウィンドウが表示されます。
6 USB のセレクティブ サスペンドの設定を変更します。



1 「詳細設定」タブのリストから「USB 設定」をダブルクリックします。

POINT
▸ お使いの機種によっては、USB 設定の変更ができない場合があります。

2 表示された「USB のセレクティブ サスペンドの設定」をダブルクリックします。
3 さらに表示された「設定」または「バッテリ駆動」「電源に接続」をクリックします。
4 「設定」または「バッテリ駆動」「電源に接続」メニュー右にある下矢印をクリックし、すべてを「無効」に設定します。
5 「OK」をクリックします。
7 設定を有効にするために、パソコン／タブレットを再起動します。

●Android で、日本語入力と英語入力の切り替えがうまくいかない場合
Android は、お使いの機種のメーカーや OS のバージョンによって、日本語入力と英語入力を切り替えるための「言語切り替えキー」を使用するために、「言語」を追加する設定、または「画面キーボード」を追加する設定が必要な場合があります。
日本語入力と英語入力を切り替えがうまくいかない場合は、下記の手順に従って、設定することをお勧めします。
1 お使いの機種の物理キーボードの言語切り替えキーをマニュアルなどで確認します。
言語切り替えキーは、Half Full（半角／全角）キー、Shift ＋ Space キー、Ctrl ＋ Space キー、Win/Cmd ＋ Space キー、変換キー、無変換キー、Alt/Opt キーのいずれかの可能性があります。
このキーで切り替えができない場合は、お使いの機種のマニュアルをご覧になるか、メーカーにお問い合わせください。
2 言語切り替えキーを押し、日本語と英語の切り替えができることを確認します。
■切り替えができた場合
設定の変更は不要です。
■切り替えができない場合
手順 3 に進んでください。
3 言語の設定で、英語を追加します。
「設定」→「システム」→「言語」→「言語追加」の順にタップし、「English(US)」を追加します。
4 言語切り替えキーを押し、日本語と英語の切り替えができることを確認します。
■切り替えができた場合
設定はこれで完了です。
■切り替えができない場合
手順 5 に進んでください。
5 画面キーボードの設定で、英語のキーボードを追加します。
「設定」→「システム」→「言語」→「画面キーボード」→「Gboard」→「言語」→「キーボードを追加」の順にタップし、「Alphabet(QWERTY)」を追加します。
6 言語切り替えキーを押し、日本語と英語の切り替えができることを確認します。
■切り替えができた場合
設定はこれで完了です。
上記の手順は一例です。「言語」設定や「画面キーボード」設定の画面が表示できなかった場合は、「設定」で「言語」や「画面キーボード」などを入力して、検索してください。検索しても表示されない場合は、お使いの機種のマニュアルをご覧になるか、メーカーにお問い合わせください。

15 お手入れについて

●変色や劣化を防ぐための注意
・ハンドクリーム、皮脂、化粧品などが長時間付着したままにすると、変色やべたつきの原因となる場合があります。
付着したときは、OA クリーニング用のクロスや不織布などの乾いた柔らかい布を使って拭き取ってください。
・汚れが固着して除去しにくくなるおそれがあるため、本製品は定期的に清掃してください。
●本製品の汚れを取る場合
・アセトン、シンナー、ベンジンなど揮発性の強いものや、化学ぞうきん、除光液、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）は絶対に使わないでください。
・アルコール成分を含んだ市販のクリーナーは使わないでください。
・爪や指輪などで傷を付けないように注意してください。
・OA クリーニング用のクロスや不織布などの乾いた柔らかい布を使って軽く拭き取ってください。
・汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭き取り、中性洗剤を使用した場合は、水に浸した布で拭き取ってください。また、拭き取るときは、キーボードに水が入らないよう充分に注意してください。
●キーボードのキーとキーの間のほこりを取る場合
・ゴミは吹き飛ばして取らないでください。キーボード内部にゴミが入り、故障の原因となります。また、掃除機などを使って、キーを強い力で引っ張らないでください。
・ほこりなどを取る場合は、柔らかいブラシなどを使って軽くほこりを取り除いてください。そのとき、毛先が抜けやすいブラシは使用しないでください。キーボード内部にブラシの毛などの異物が入り、故障の原因となる場合があります。

16 リサイクル／廃棄について

本製品を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、お客様ご自身で分解はせず、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。
なお、地方自治体において、「小型家電リサイクル」が実施されている場合があります。キーボード、USB レシーバー、または USB ケーブルについては、「小型家電リサイクル」での回収にご協力をお願いいたします。

17 仕様一覧

品名	FMV Keyboard X01M
接続方式	有線：USB（本製品側：Type-C、パソコン／タブレット側：Type-A） 無線：USB レシーバー（Type-A）、Bluetooth 6.1
キー配列	日本語配列
キー数	84 キー
キーピッチ	約 19.0mm
キーストローク	約 3.0mm
キーキャップ	PC 樹脂、良触感塗装仕上げ
キースイッチ	静音磁気スイッチ
ロールオーバー機能	N キーロールオーバー
バックライト	白色（キーの印字は光りません）
チルトスタンド	あり
アクチュエーションポイント	3 段階調整可能
ラピッドトリガー	対応
充電コネクタ	USB Type-C ×1（USB キーボードとしても動作）
充電池	内蔵型リチウムイオン充電池
動作時間 [注 1]	バックライトの消灯時：約 1ヶ月 バックライトの点灯時：約 8 時間
温湿度条件	温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時） 温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時） （ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）
外形寸法（幅 × 奥行 × 高さ）	チルトスタンド収納時：約 299.0mm× 約 118.5mm× 約 27.6mm チルトスタンド使用時：約 299.0mm× 約 118.5mm× 約 35.9mm
質量	約 600g（USB レシーバーは含まない）
対応 OS [注 2]	Windows 11、macOS 13（Ventura）以降、iOS/iPadOS17 以降、Android 13 以降、Chrome OS

注 1 ： 週 5 日、1 日 8 時間のタイピング使用を想定し、未使用時は電源を OFF にした条件で算出しています。ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります。

注 2 ： 添付の USB レシーバー、添付の USB ケーブル、または Bluetooth のいずれかの接続を対象とします。

FMV Keyboard X01M 取扱説明書
B6FY-6371-01 Z0-00
発 行 日　　2026 年 10 月
発行責任　　富士通クライアントコンピューティング株式会社
〒 212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田 1-1-2 新川崎ツインタワー（ウエストタワー）

● このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
● このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
● 無断転載を禁じます。